

## 大雪に伴う農作物等の被害防止について

井笠農業普及指導センター

気象庁の発表（1月22日）によると、日本付近は23日から25日にかけて東日本から西日本の日本海側を中心に大雪となる見込みとなっています。また、23日から25日頃にかけて強い冬型の気圧配置となり、この冬一番の強い寒気が流れ込む見込みであり、大雪に対する警戒が必要とされ、ビニールハウス等の施設や農作物等への影響が懸念されるところです。

このため、今後、最新の気象情報に御留意いただき、別添令和5年12月4日付け、季節情報No. 3を参考に各地域で適切な技術指導をお願いします。

なお、作業者の安全確保を最優先に二次災害の防止を徹底するよう、併せて注意喚起をお願いいたします。

### 大雪に関する全般気象情報 第2号（令和6年1月22日04時44分 気象庁発表）

日本付近は23日から25日頃にかけてこの冬一番の強い寒気が入り、冬型の気圧配置が強まるでしょう。東日本から西日本の日本海側を中心に大雪となるでしょう。積雪や路面の凍結による交通障害に注意・警戒してください。

寒気の強さによっては、その他の東日本から西日本にかけての地方でも、警報級の大雪となる可能性があります。